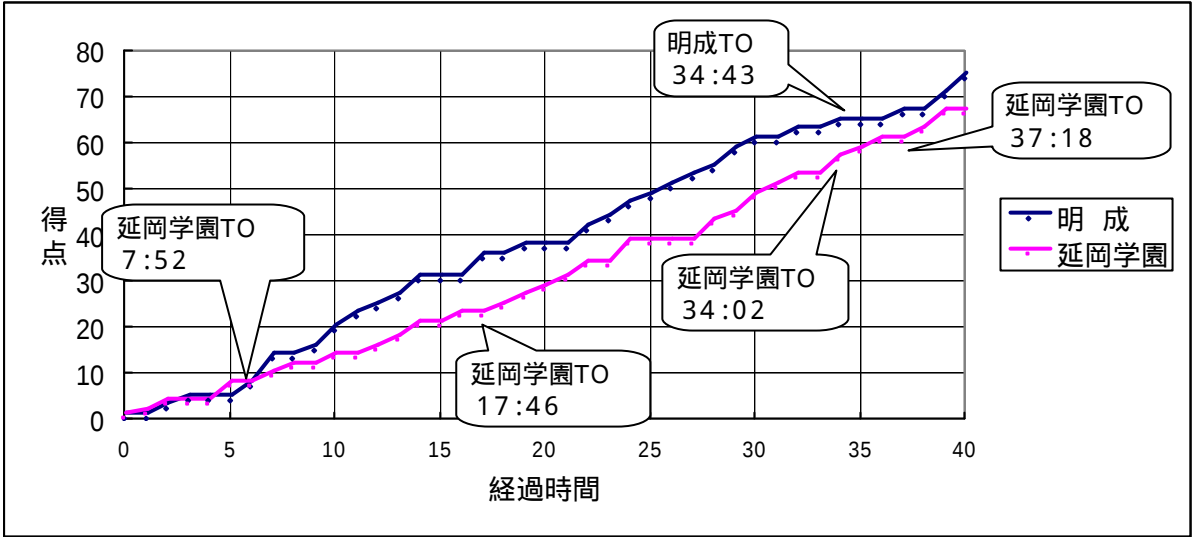


大会名	平成19年度全国高等学校総合体育大会バスケットボール大会第60回全国高等学校バスケットボール選手権大会	M4	15:00	男子準々決勝
期日	2007年（平成19年）8月1日（水）	明 成 74	宮城 ○	19 - 13 18 - 15 23 - 20 14 - 18 - 66 延岡学園 ● 宮崎
会場	唐津市文化体育館			

主審 平 育 雄 副審 川 端 孝 博



明 成							
No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F	
4	安藤 雄志	0	0	0	0	0	
5	畠山 俊樹	0	0	0	0	0	
6	伊藤 駿	5	0	2	1	3	
7	小野 大貴	0	0	0	0	0	
8	名塚 裕貴	4	0	2	0	0	
9	佐藤 文哉	2	0	0	2	0	
○ 10	佐藤 卓哉	19	1	8	0	2	
○ 11	佐藤 琢	13	1	5	0	3	
12	新妻 一輝	0	0	0	0	0	
○ 13	石川 海斗	17	1	5	4	1	
○ 14	中川 真雄	14	0	6	2	1	
15	宮澤 耀佑	0	0	0	0	0	
16							
17							
18							
コーチ	佐藤 久夫						
合計		74	3	28	9		

延岡学園							
No.	氏 名	点	3P	2P	FT	F	
4	福留 貴明	0	0	0	0	0	
○ 5	シダット ジャーラ	19	0	9	1	3	
○ 6	和田 力也	17	1	6	2	2	
○ 7	永吉 佑也	10	0	4	2	1	
8	前田 陽介	10	2	2	0	4	
9	重永 和樹	0	0	0	0	0	
○ 10	内村 祥也	8	0	3	2	4	
11	大坪 将太	0	0	0	0	0	
12	川口 裕也	0	0	0	0	0	
13	横瀬 孝樹	0	0	0	0	0	
14	中村 友哉	0	0	0	0	0	
15	川元 崇史	2	0	1	0	0	
16							
17							
18							
コーチ	北郷 純一郎						
合計		66	3	25	7		

○はスターター（はキャプテン） 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル

戦 評	
接戦に次ぐ接戦を乗り越え勢いに乗る明成と、内外のバランスがとれ安定した力を発揮している延岡学園との対戦はスピードが高さを制し、明成がベスト4へ進出した。第1P、明成はハーフコートマンツーマン、延岡学園は3-2ゾーンでスタート。延岡学園はでだしから#5 ジャーラにボールを集め攻撃する。しかし残り1分2つ目のファウルでベンチに下がると、明成は鮮やかな速攻から3連続得点と一気にたたみかけ19対13で第1Pを終了した。第2P、明成は#11佐藤琢の3P、#10佐藤卓のドライブインで24対13と初めて2桁差とする。しかし最後は延岡学園#7永吉がゴール下で踏ん張り37対28と1桁差まで詰めて前半を終了した。第3P、明成はさらにスピードを上げ、#13石川がディフェンスを切り裂きシュートを決める。さらには#14中川がリバウンドを頑張りチームに勢いを与える。延岡学園も#6和田が鋭く切れ込みシュートを決めるが、60対48と点差が開いて第3Pが終了した。最後まで手に汗握る展開となった第4P。一進一退の攻防の中、明成#13石川の見事なアシストから#14中川がゴール下シュートを決め、粘る延岡学園を振り切り74対66で明成が勝利を収めた。	
記載者	金岩貴之 (所属) 佐賀県バスケットボール協会